

# ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2025年7月)

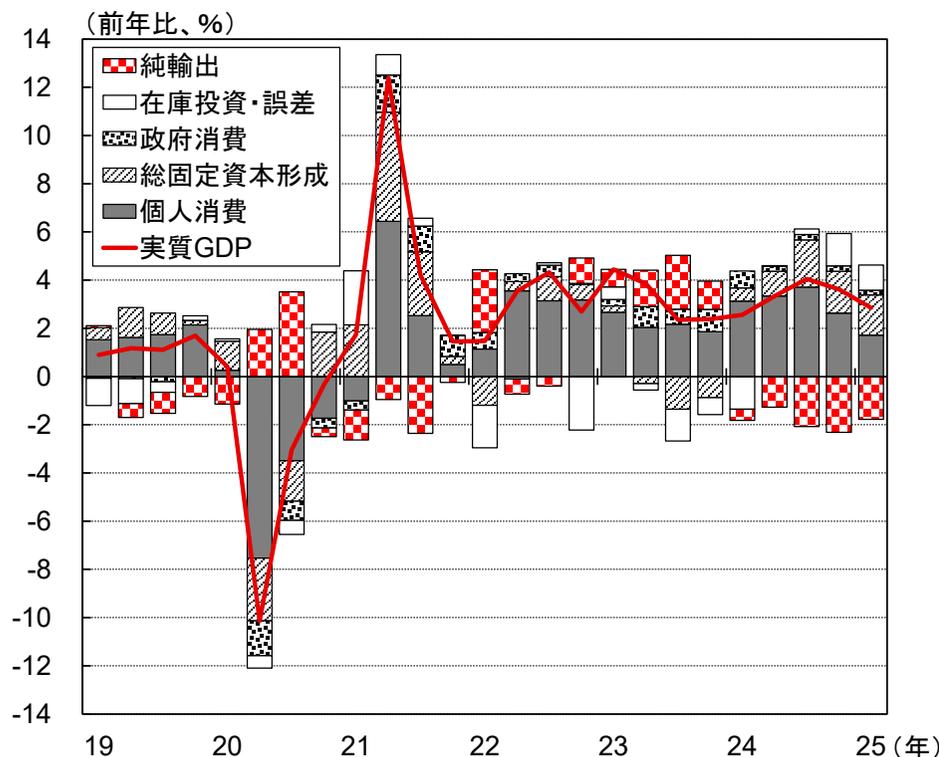
2025年7月17日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

# 1. ブラジル (1) 景気概況

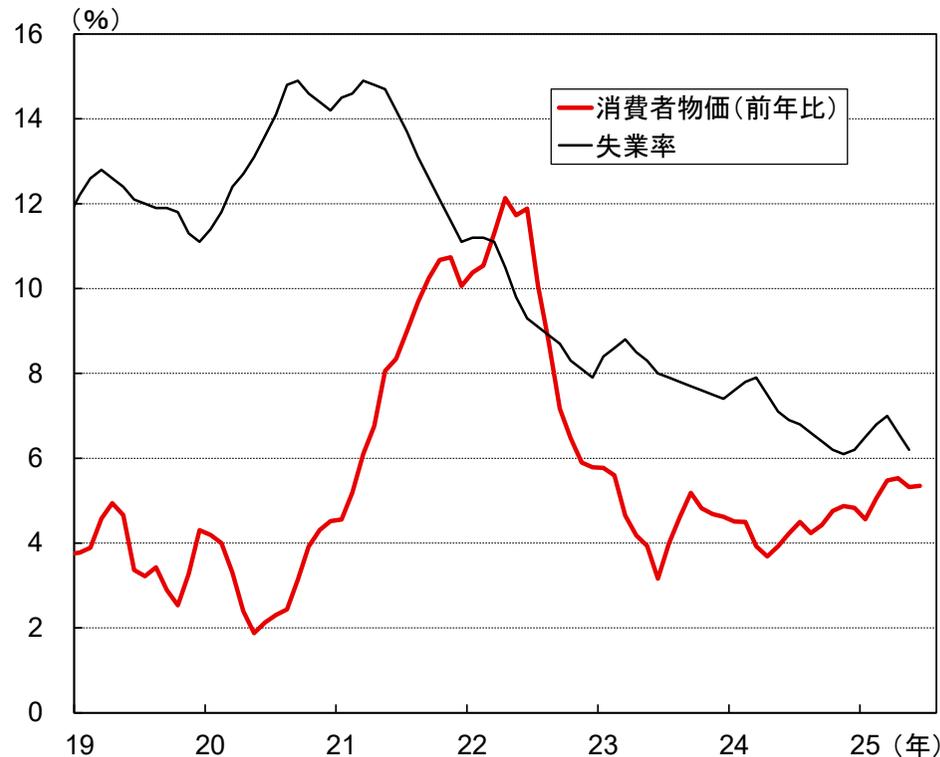
- 1-3月期の実質GDP成長率は前年比+2.9%と、前期(同+3.6%)から減速。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲1.8%ポイント)はマイナス幅が縮小し、政府消費(同+0.2%ポイント)と総固定資本形成(同+1.7%ポイント)は前期から横這いだった一方、個人消費(同+1.7%)のプラス幅が縮小した。
- 5月の失業率(未季節調整値)は6.2%。2021年のピーク以降、低下傾向が継続。
- 6月の消費者物価指数は前年比+5.4%と、昨年10月以降、ブラジル中央銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1.5%)を上回る推移が続いている。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

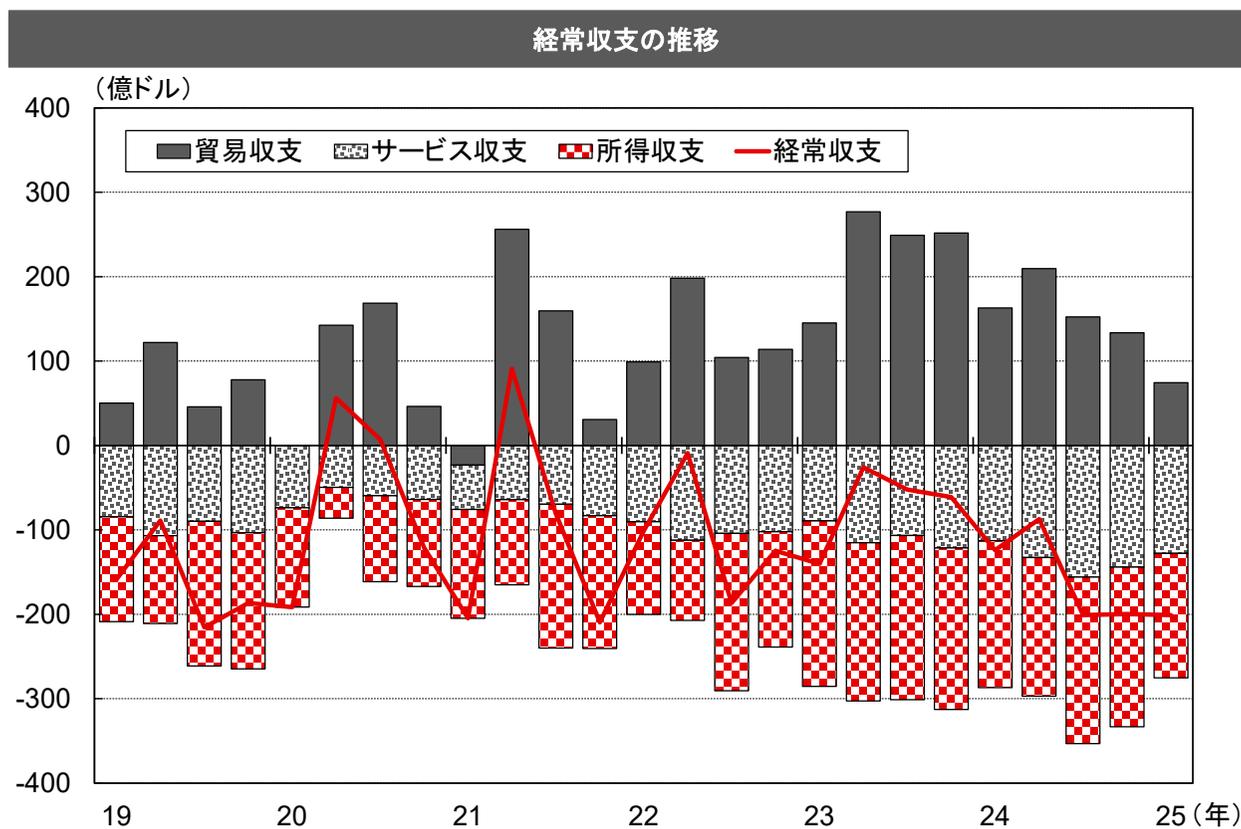
消費者物価上昇率と失業率の推移



(注)失業率は未季節調整値。  
(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (2) 経常収支

- 1-3月期の経常収支は▲201億ドルと、前年同期の▲124億ドルから赤字幅が拡大。
- 貿易収支が+74億ドル(前年同期: +163億ドル)と黒字が大幅に縮小したことが主因。サービス収支は▲128億ドル(同▲113億ドル)と赤字幅が小幅に拡大、所得収支は▲147億ドル(同▲174億ドル)と赤字幅が縮小。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (3) 金融市場

- ブラジル中央銀行は6月の金融政策委員会において利上げを行い、政策金利を15.0%とした(昨年9月から7回連続の利上げ)。今回の利上げについて、米国の関税政策による不確実性を挙げたほか、経済成長や労働市場の堅調が続く中で、引き続きターゲットを超えて推移するインフレへの対応としている。この利上げの影響もあり、ブラジルレアルの対ドル相場は、昨年末の1ドル=6.0レアル台という史上最安値圏から上昇し、足元は1ドル=5.5レアル付近で推移している。
- 株価(ボベスパ指数)は1月以降上昇傾向にあり、7月には140,000ポイント前後まで上昇。底堅いブラジル経済の動向に加え、2026年の大統領選挙における政権交代への期待も、株価を押し上げる要因となっている。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (4) 経済・金融概況

## ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/4-6	7-9	10-12	25/1-3	25/3	4	5	6
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.0)	(3.2)	(3.4)	(3.3)	(4.0)	(3.6)	(2.9)				
経済活動指数○	142.76	146.83	151.98	106.06	107.33	107.44	108.97	109.63	109.69	108.87	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲0.7)	(0.3)	(2.7)	(0.7)	(1.1)	(▲0.0)	(0.2)	(1.3)	(▲0.2)	(▲0.6)	—
設備稼働率○	(80.4)	(78.7)	(79.1)	(79.4)	(79.3)	(78.9)	(78.7)	(78.8)	(78.2)	(78.5)	—
小売売上高(前年比、%)	(1.1)	(1.7)	(4.8)	(3.9)	(3.3)	(3.9)	(1.3)	(▲0.8)	(5.3)	(2.1)	—
自動車国内販売台数(千台)	2,104	2,309	2,635	629	715	776	552	196	209	226	213
失業率(%)	(9.5)	(8.0)	(6.9)	(7.2)	(6.6)	(6.2)	(6.8)	(7.0)	(6.6)	(6.2)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(9.3)	(4.6)	(4.4)	(4.0)	(4.4)	(4.8)	(5.0)	(5.5)	(5.5)	(5.3)	(5.4)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(11.2)	(▲6.1)	(0.5)	(▲1.8)	(4.1)	(6.7)	(9.1)	(9.9)	(9.7)	(7.7)	(4.0)
輸出(FOB)(億ドル)	3,341	3,397	3,370	901	887	826	776	290	301	303	—
(前年比、%)	(19.0)	(1.7)	(▲0.8)	(▲0.8)	(▲0.1)	(▲4.9)	(▲1.2)	(3.9)	(▲1.7)	(▲0.3)	—
輸入(FOB)(億ドル)	2,726	2,408	2,629	691	734	693	701	218	232	237	—
(前年比、%)	(24.2)	(▲11.7)	(9.2)	(9.5)	(15.0)	(12.3)	(12.7)	(0.9)	(1.5)	(3.5)	—
貿易収支(億ドル)	515	923	658	210	152	134	74	72	69	66	—
経常収支(億ドル)	▲422	▲279	▲612	▲87	▲201	▲200	▲201	▲27	▲19	▲29	—
直接投資ネット流入(億ドル)	746	624	711	132	178	154	218	60	55	37	—
外貨準備高(億ドル)◎	2,719	3,170	2,827	3,067	3,191	2,827	2,918	2,918	2,919	2,934	2,938
ベースマネー(億リアル)◎	4,197	4,227	4,512	4,369	4,299	4,512	4,433	4,433	4,351	4,521	4,510
政策金利(Seric Target rate)◎	(13.75)	(11.75)	(12.25)	(10.50)	(10.75)	(12.25)	(14.25)	(14.25)	(14.25)	(14.75)	(15.00)
対米ドル為替相場◎	5.217	4.841	6.192	5.559	5.448	6.192	5.742	5.742	5.661	5.708	5.457
株価指数(ボベスパ指数)◎	109,735	134,185	120,283	123,907	131,816	120,283	130,260	130,260	135,067	137,027	138,855

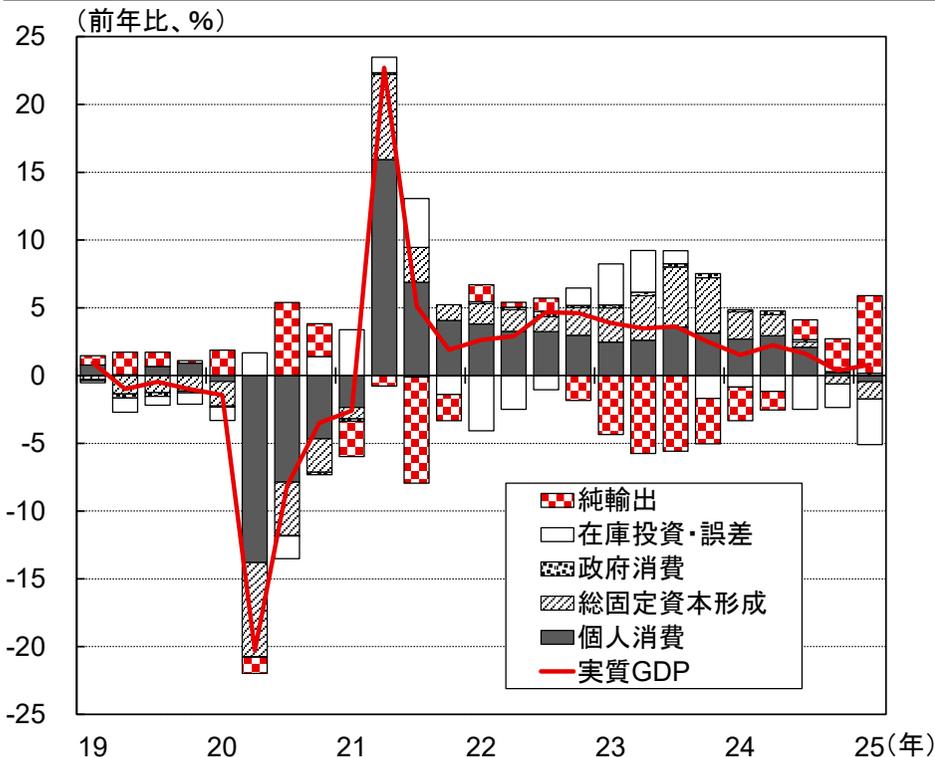
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (1) 景気概況

- 1-3月期の実質GDP成長率は前年比+0.8%と、前期(同+0.4%)からやや加速。需要項目別の寄与度では、個人消費(同▲0.5%ポイント)や総固定資本形成(同▲1.3%ポイント)はいずれもマイナス幅が拡大したものの、純輸出(同+5.7%ポイント)が大幅に拡大しプラス寄与の大半を占めた。
- 5月の失業率は2.7%と引き続き低位で推移。
- 6月の消費者物価上昇率は前年比+4.3%と、メキシコ銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)を2カ月連続で上回った。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

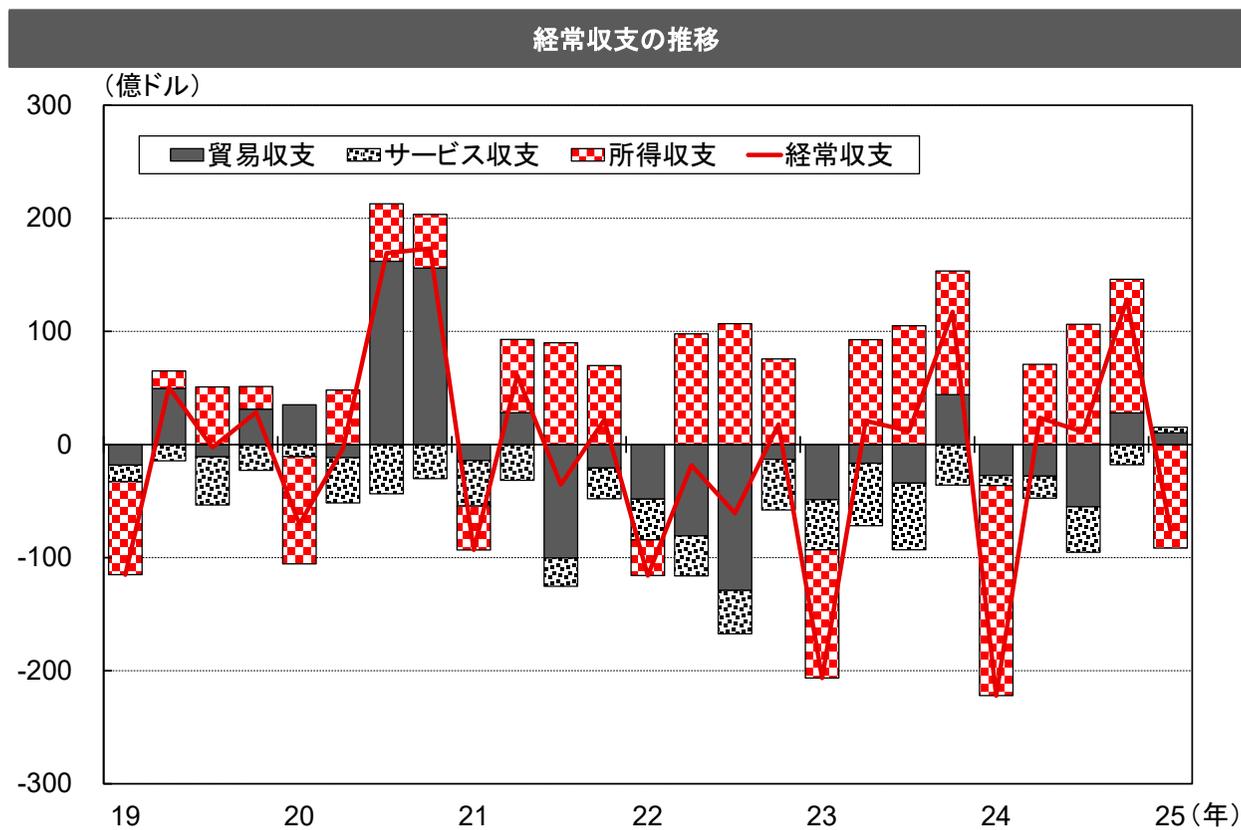
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (2) 経常収支

- 1-3月期の経常収支は▲76億ドルと、前年同期の▲222億ドルから赤字幅が大きく縮小した。
- 内訳をみると、貿易収支が+10億ドル(前年同期: ▲27億ドル)、サービス収支は+5億ドル(同 ▲9億ドル)とそれぞれ黒字に転じたほか、所得収支は▲92億ドル(同 ▲186億ドル)と赤字幅が大きく縮小した。



(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (3) 金融市場

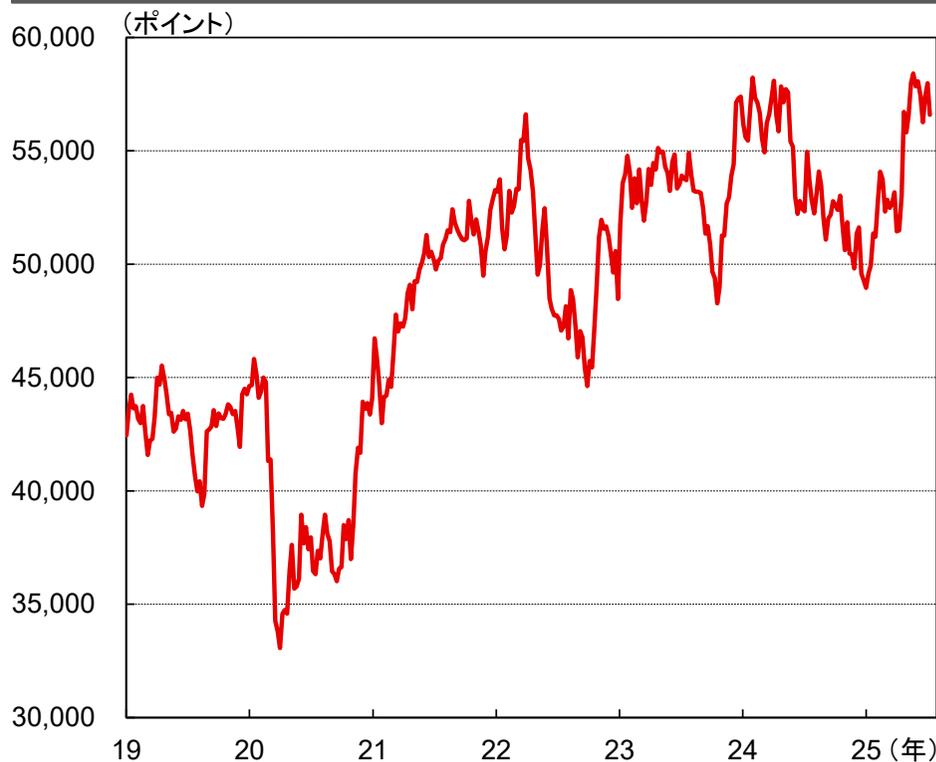
- メキシコペソの対ドル相場は、足元ペソ高方向の動きが見られる。米国の関税政策のメキシコへの影響が、当初の懸念程大きくない(負担が重くない)という見方が一つの要因となっている。
- メキシコ銀行(中銀)は6月の金融政策決定会合において、政策金利を8.0%まで引き下げた。もっとも、次回以降も同程度の利下げを行う旨の文言が声明文から削除されており、今後の利下げ幅の縮小など、金融緩和のペースダウンが予想される。
- 株価(ボルサ指数)は4月以降大きく上昇しており、足元は55,000ポイントから60,000ポイントの間で推移。米国の関税政策による負の影響が想定よりも大きくないとの思惑が、株高に影響しているとみられる。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (4) 経済・金融概況

### メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/4-6	7-9	10-12	25/1-3	25/3	4	5	6
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.7)	(3.3)	(1.5)	(2.2)	(1.6)	(0.4)	(0.8)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(4.8)	(3.4)	(0.1)	(▲0.0)	(0.3)	(▲1.5)	(0.1)	(▲1.2)	(0.2)	(0.6)	—
自動車生産台数(千台)	3,308	3,779	3,989	1,068	1,034	959	968	339	326	358	361
自動車販売台数(千台)	897	1,361	1,490	355	369	416	365	127	108	120	116
原油産出量(千バレル/日)*	1,784	1,875	1,759	1,784	1,764	1,670	1,615	1,607	1,627	1,636	—
(前年比、%)	(1.6)	(5.1)	(▲6.2)	(▲6.2)	(▲5.7)	(▲10.0)	(▲11.3)	(▲11.2)	(▲8.8)	(▲8.4)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	88.8	70.9	70.3	74.2	69.2	65.0	64.9	62.6	60.3	57.2	—
失業率(%)○	(3.3)	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.6)	(2.6)	(2.6)	(2.6)	(2.7)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(7.9)	(5.5)	(4.7)	(4.8)	(5.0)	(4.5)	(3.7)	(3.8)	(3.9)	(4.4)	(4.3)
輸出(FOB)(億ドル)	5,777	5,930	6,171	1,559	1,563	1,614	1,493	555	543	555	—
(前年比、%)	(16.7)	(2.7)	(4.1)	(3.4)	(4.3)	(6.7)	(4.0)	(9.6)	(5.8)	(▲0.3)	—
輸入(CIF)(億ドル)	6,046	5,985	6,253	1,587	1,618	1,586	1,482	521	544	544	—
(前年比、%)	(19.6)	(▲1.0)	(4.5)	(4.1)	(5.6)	(8.0)	(1.3)	(7.1)	(▲1.2)	(1.4)	—
経常収支(億ドル)	▲177	▲56	▲60	24	11	128	▲76				
資本収支(億ドル)	▲1	▲0	▲1	▲0.0	▲0.6	▲0.1	▲0.1				
外貨準備高(億ドル)◎	1,991	2,128	2,290	2,200	2,267	2,290	2,373	2,373	2,397	2,400	2,417
ベースマネー(億ペソ)◎	27,000	29,605	32,934	29,952	30,730	32,934	32,512	32,512	32,447	32,837	32,523
政策金利◎	(10.50)	(11.25)	(10.00)	(11.00)	(10.50)	(10.00)	(9.00)	(9.00)	(9.00)	(8.50)	(8.00)
対米ドル為替相場◎	19.47	16.92	20.79	18.25	19.64	20.79	20.44	20.44	19.61	19.39	18.83
株価指数(ボルサ指数)◎	48,464	57,386	49,513	52,440	52,477	49,513	52,484	52,484	56,259	57,842	57,451

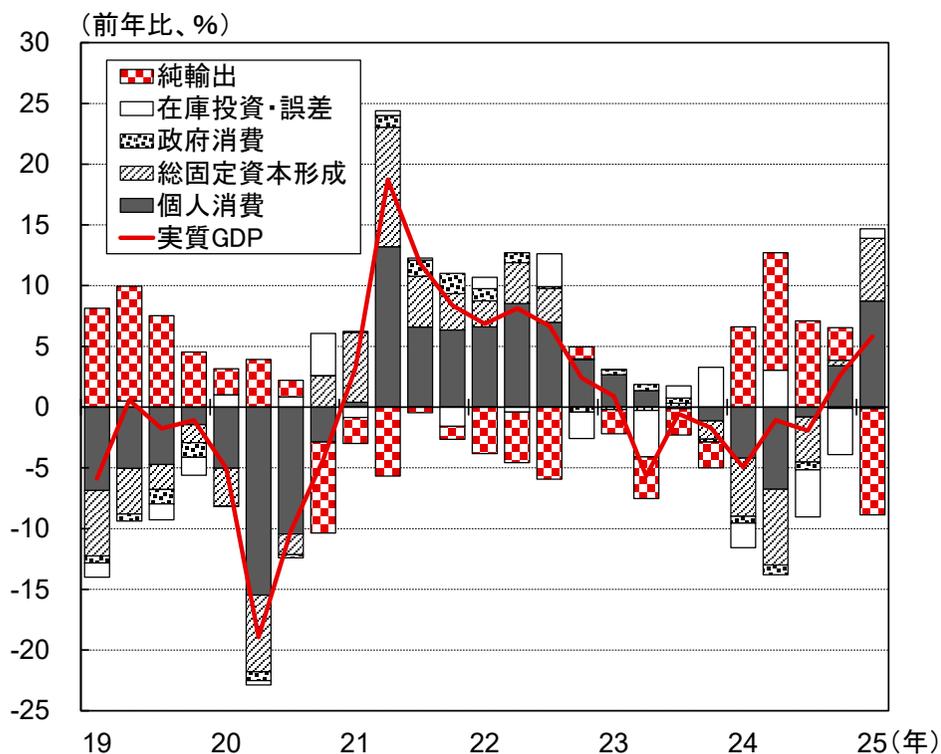
(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (1) 景気概況

- 1-3月期の実質GDP成長率は、前年比+5.8%と前期(同+2.6%)から大幅に加速。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲8.8%ポイント)は大きくマイナス寄与に転じた一方、個人消費(同+8.7%ポイント)と総固定資本形成(同+5.2%ポイント)が大きく成長率を押し上げた。
- 1-3月期の失業率(未季節調整値)は7.9%と前年同期を上回って推移。低位推移が継続していたが、足元はやや上昇傾向に転じつつある。
- 6月の消費者物価上昇率は、前年比+39.4%と低下が継続。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移



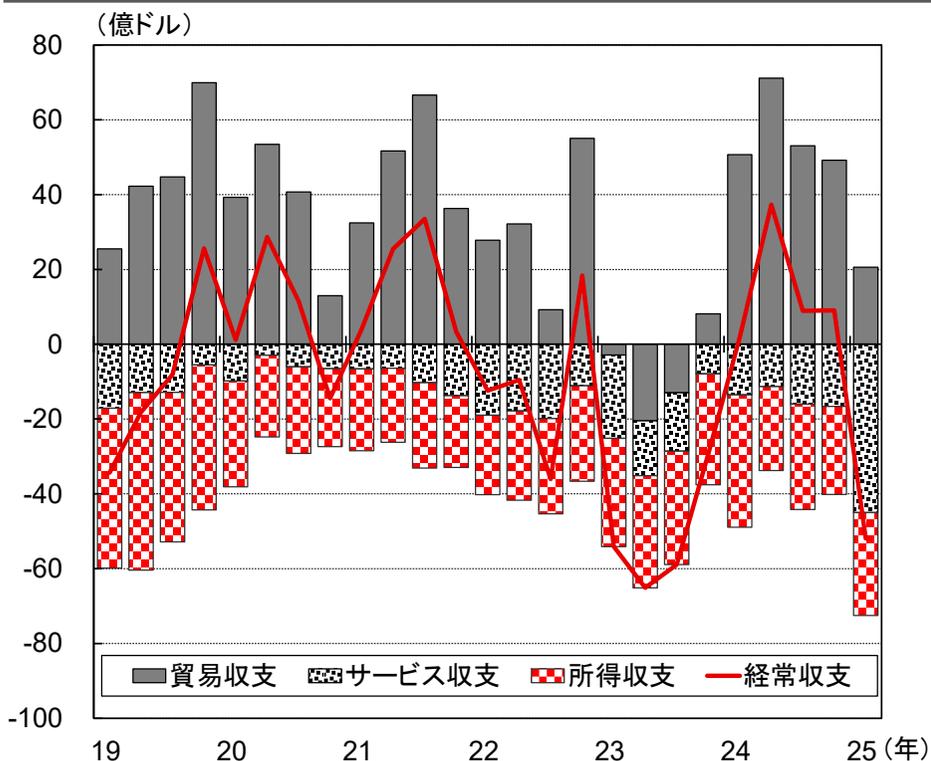
(注)失業率は未季節調整値。

(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

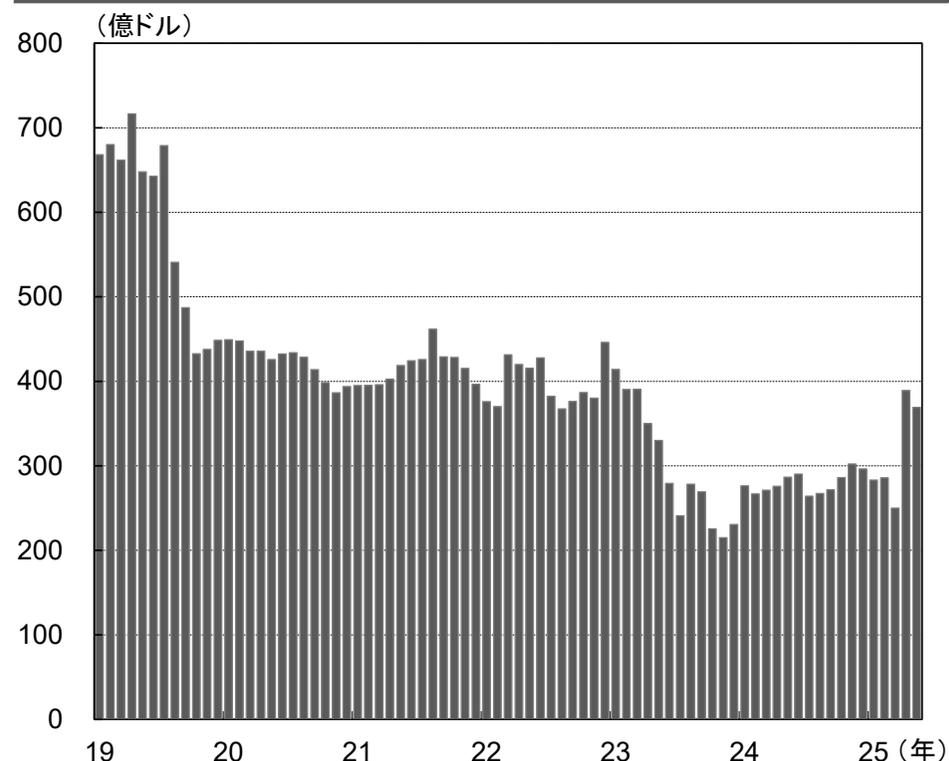
- 1-3月期の経常収支は▲52億ドルと、前年同期の+2億ドルから赤字に転じた。
- 内訳をみると、貿易収支が+21億ドル(前年同期: +51億ドル)と黒字幅が縮小し、サービス収支は▲45億ドル(同▲14億ドル)と赤字幅が拡大。一方、所得収支は▲27億ドル(同▲35億ドル)と赤字幅が縮小した。
- 5月末時点の外貨準備高は369億ドル。4月にIMFから200億ドルの融資が実行されたことが影響し大幅に増加。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

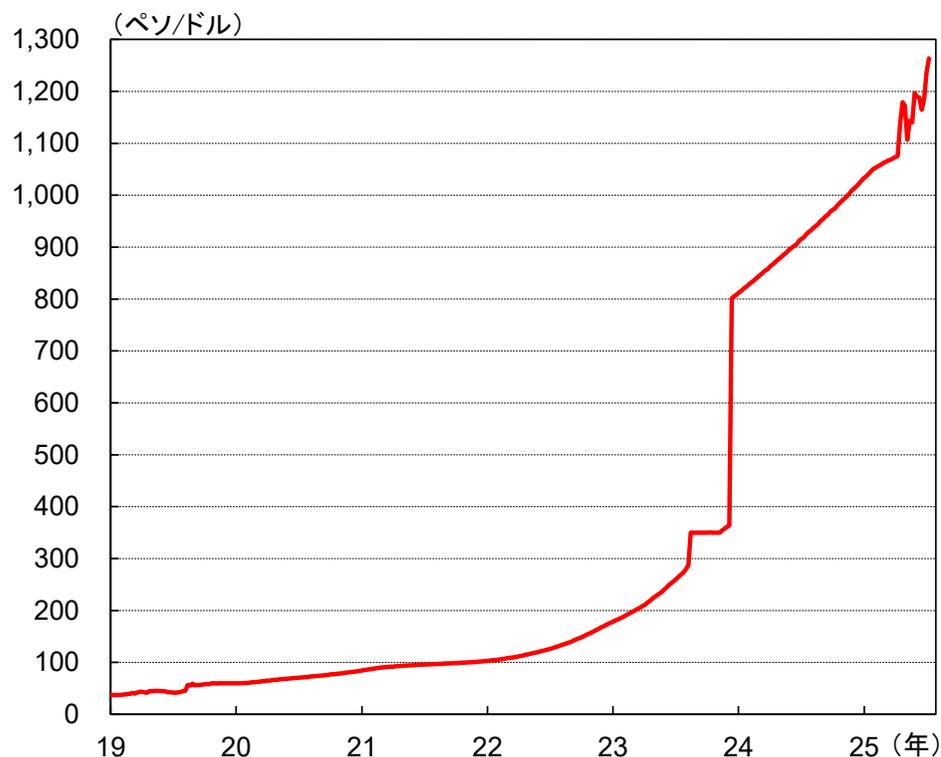


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (3) 金融市場

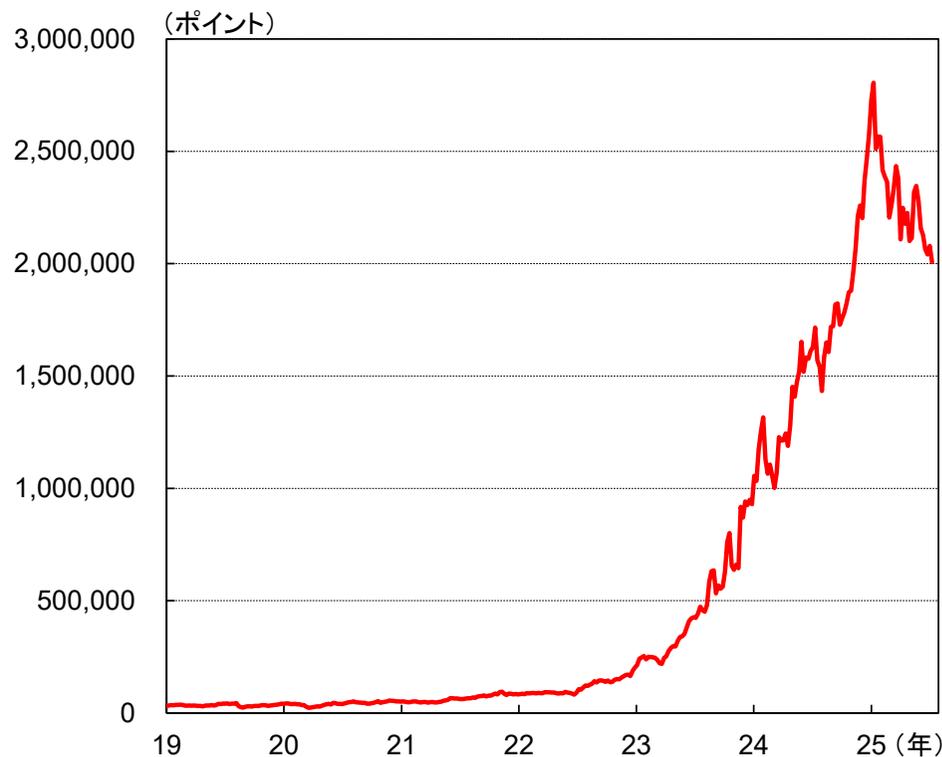
- アルゼンチン中央銀行は、完全な変動相場制への移行を目指して、4月からアルゼンチンペソの為替バンド制を導入しており、4月以降、相場はより細かな変動を見せている。為替バンド制では上限と下限が設定され、その範囲内で為替レートは需給に応じて自由に変動するが、バンド幅を超えて変動する場合は中銀が介入。4月時点で下限を1ドル1,000ペソ、上限を1ドル1,400ペソと設定し、毎月上限、下限ともに1%ずつバンド幅を拡大。
- アルゼンチンペソの対ドル相場(公定レート)は、足元1ドル=1,200ペソから1,300ペソの間まで下落している。
- 政策金利は1月に設定した29%で据え置きが継続。
- 株価(メルバル指数)は1月以降下落傾向に転じており、足元は2,000,000ポイント付近で推移。米国の関税政策による懸念が大きな要因となっている。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

#### アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2022	2023	2024	24/4-6	7-9	10-12	25/1-3	25/3	4	5	6
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.3)	(▲1.6)	(▲1.7)	(▲1.1)	(▲1.9)	(2.6)	(5.8)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(4.2)	(▲1.7)	(▲9.1)	(▲17.3)	(▲6.2)	(1.6)	(6.1)	(5.1)	(8.7)	(5.8)	—
建設活動指数(前年比、%)	(3.5)	(▲3.1)	(▲27.1)	(▲35.1)	(▲24.0)	(▲19.7)	(6.0)	(15.8)	(25.9)	(8.6)	—
自動車生産台数(千台)	537	611	507	113	146	144	114	42	45	48	43
自動車販売台数(千台)	376	407	411	83	116	133	128	48	53	59	60
失業率(%)	(6.8)	(6.1)	(7.2)	(7.6)	(6.9)	(6.4)	(7.9)				
消費者信頼感指数	36.9	41.1	39.5	37.6	39.9	44.5	46.3	44.1	44.1	45.5	45.5
消費者物価上昇率(前年比、%)	(72.4)	(134.5)	(208.1)	(278.7)	(234.2)	(154.4)	(68.0)	(55.9)	(47.3)	(43.5)	(39.4)
輸出(FOB)(億ドル)	884	668	797	208	209	206	187	66	67	71	—
(前年比、%)	(13.5)	(▲24.5)	(19.4)	(18.0)	(17.4)	(31.7)	(7.1)	(2.3)	(2.5)	(▲7.4)	—
輸入(CIF)(億ドル)	815	737	608	136	156	157	166	60	65	65	—
(前年比、%)	(29.0)	(▲9.6)	(▲17.5)	(▲30.5)	(▲18.3)	(5.8)	(34.2)	(39.0)	(37.3)	(29.4)	—
貿易収支(億ドル)	69	▲69	189	71	53	49	21	6	2	6	—
外貨準備高(億ドル)◎	446	231	296	290	272	296	250	250	389	369	400
ベースマネー(億ペソ)◎	52,038	96,080	297,286	201,825	223,961	297,286	305,342	305,342	326,990	349,401	371,756
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	90,862	237,481	784,570	436,475	590,969	784,570	938,425	938,425	1,002,908	1,060,992	—
(前年比、%)	(69.6)	(161.4)	(230.4)	(221.1)	(242.0)	(230.4)	(198.5)	(198.5)	(190.8)	(174.3)	—
経常収支(億ドル)	▲41	▲210	63	37	9	9	▲52				
対米ドル為替相場◎	177.13	808.48	1,032.50	911.75	970.92	1,032.50	1,073.88	1,073.88	1,172.00	1,195.33	1,194.08
株価指数(メルバル指数)◎	202,085	929,704	2,533,635	1,611,295	1,697,401	2,533,635	2,338,761	2,338,761	2,100,844	2,278,992	1,994,825

(注)◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行本店ビル

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp  
川畑 昭人 akito\_kawabata@iima.or.jp